

男と女のドラマであり、

二つの家の物語であり、

日本のある時期の姿もある。

そんな作品を考えています。

「あ・うん」企画意図



ドラマ「あ・うん」撮影現場で 提供・朝日新聞社

向田邦子 1929-1981

東京府荏原郡世田ヶ谷町若林(現・東京都世田谷区若林)生まれ。10歳の時、保険会社に勤める父親の転勤に伴い、鹿児島で2年3ヶ月を過ごす。1947(昭和22)年に実践女子専門学校(現・実践女子大学)国語科に入学。卒業後は、広告会社の社長秘書から映画雑誌「映画ストーリー」の編集者を経て、29歳で初めてテレビドラマ「ダイヤル110番」の台本を執筆。ドラマ「時間ですよ」「だいこんの花」「寺内貫太郎一家」など多くの作品を生み出し、ホームドラマのゴッドマザーと呼ばれるようになる。1976(昭和51)年、エッセイの連載を開始。これをまとめた『父の詫び状』が出版され、話題を呼ぶ。1980(昭和55)年、「小説新潮」に連作短篇小説「思い出トランプ」を連載。この中の「花の名前」「かわうそ」「犬小屋」の3篇により第83回直木賞を受賞。1981(昭和56)年、エッセイ執筆のため台湾を旅行中に、航空機事故により51歳での世を去る。

関連イベント

①向田作品朗読会「あ・うん」の世界

- ◎朗 読／岸本加世子 氏(女優)
◎演 奏／塩屋祐典 氏(ピアニスト、ギタリスト)
◎日 時／令和4年1月22日(土) 14:00～
◎場 所／川商ホール(鹿児島市民文化ホール) 市民ホール
◎定 員／200名(超えたら抽選)
◎参加費／文学館常設展示チケット ※年間パスポートでも可
◎申込み／往復はがきかメール(kinmeru4@k-kb.or.jp)に
 参加者全員の氏名、年齢、住所、電話番号を
 書いて「向田作品朗読会」係まで。
◎締 切／12月25日(土)必着



岸本加世子

女優。1977年、久世光彦演出TBSテレビ水曜劇場「ムー」にて女優デビュー。1999年映画「HANA-BI」で日本アカデミー賞優秀主演女優賞、2000年「菊次郎の夏」で同賞最優秀助演女優賞などを受賞。ドラマ「あ・うん」では主人公の娘・水田さと子役を演じる。ほか向田ドラマ「幸福」「源氏物語」(1980)や久世光彦演出のドラマ「向田邦子の恋文」(2004)に出演。

塩屋祐典

ピアニスト、ギタリスト。クラシック、ジャズからポップスまで様々な音楽活動を行い多くのミュージシャンと共に演。2013年、第38回鹿児島市春の新人賞受賞。鹿児島県内外で活動。かごしま近代文学館開催の朗読会等のイベントにも出演。

②ギャラリートーク

- ◎日時／令和3年12月4日(土) 13:30～ ◎場所／かごしま近代文学館 常設展示室2階 ◎定員／10名程度(先着) ◎申込み／不要
◎参加費／文学館常設展示チケット ※年間パスポートでも可



交通のご案内

【鹿児島中央駅から】

- 市電／2系統鹿児島駅行き「朝日通」下車、徒歩7分
- バス／天文館、市役所方面行き「金生町」下車、徒歩7分
- カゴシマシティピューア「西郷銅像前」下車、徒歩3分
- 車／約10分

駐車場のご案内(無料)

- 来館者用駐車場：13台(軽9台、一般車2台、身障者用2台)
- 近代文学館メルヘン館・美術館共用駐車場：普通車31台 ※駐車券を総合案内までお持ちください。

【鹿児島空港から】

- リムジンバス／鹿児島市内行き「金生町」下車、徒歩7分
- 高速自動車道をご利用の場合／鹿児島北インターチェンジより、鹿児島市内方向へ約15分

【新型コロナウイルス感染症対策へのお願い】

※来館の際は、来館者カードの記入、手指消毒、検温、マスクの着用にご協力をお願いいたします。※会場内の密を避けるため、入場制限を行なう場合がございます。※感染拡大状況により中止する場合がございます。※最新の情報は館ホームページでご確認、またはお問い合わせください。



かごしま近代文学館

〒892-0853 鹿児島市城山町5番1号 TEL.099-226-7771 FAX.099-227-2653 <https://www.k-kb.or.jp/kinmeru>